

- 5月の米ISM非製造業景気指数は市場予想に反し上昇、雇用指数の上昇幅は2年ぶりの大きさに。同製造業景気指数が市場予想を下回り、2年7ヵ月ぶりの低水準を記録したこととは対照的といえる。
- 足もとの米国の経済指標は必ずしも悪化しているとはいえ、米中貿易摩擦が拡大するとの懸念が市場の重しとなるなか、FRBの金融政策に対する柔軟な姿勢が当面、市場を下支えすると思われる。

米非製造業景気指数は予想に反し上昇

5日に発表された5月の米供給管理協会（ISM）非製造業景気指数は56.9と、前月の55.5から低下するとの市場予想55.4（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）に反し上昇しました。

内訳をみると、新規受注指数が上昇したほか、雇用指数は前月比の上昇幅が2017年5月以来2年ぶりの大きさを記録するなど、構成主要項目4指数のうち、3指数が上昇しました。

3日に発表されたISM製造業景気指数が市場予想を下回り、2016年10月以来、2年7ヵ月ぶりの低水準を記録したこととは対照的な内容といえます。

米金利は一時低下も上昇に転じる

5日の米国株式市場では主要株価指数が前日に続き上昇したほか、外国為替市場では米ドル/円が前日比で30銭程度の円安米ドル高となりました。

また、米10年国債利回りは前日比ではほぼ横ばいとなりました。朝方に発表された民間部門の雇用者数増加幅が2万7千人と、市場予想の18万5千人を大幅に下回ったことで、同利回りは一時2.07%台まで低下する場面もありましたが、その後発表されたISM非製造業景気指数が市場予想を上回ったことから、同利回りは上昇に転じました。

米経済指標は必ずしも悪化しているとはいえ

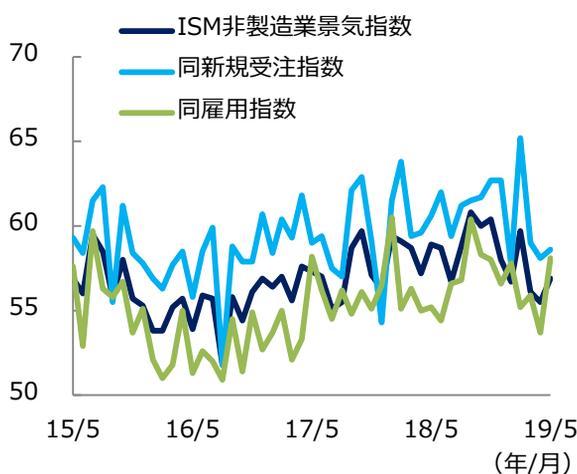
4日にパウエル米連邦準備理事会（FRB）議長が、必要であれば利下げをいとわない姿勢を示したことを受けて、市場では利下げ期待が高まっています。ただし、ISM非製造業景気指数など足もとの米国の経済指標は必ずしも悪化しているとはいえません。

米中貿易摩擦が拡大するとの懸念が景気の先行きに対する見方や金融市場にとって重しとなるなか、FRBの金融政策に対する柔軟な姿勢が当面、市場を下支えすると思われます。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

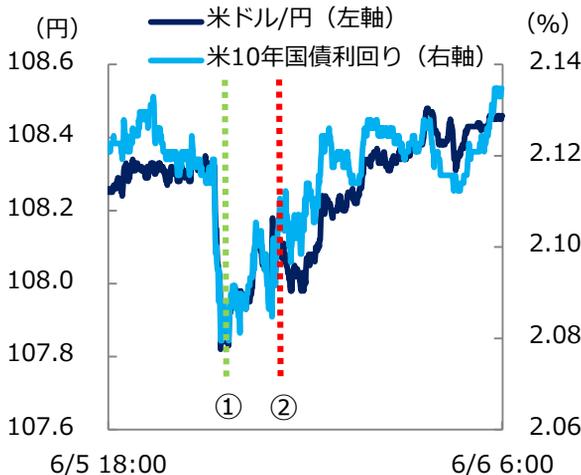
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

ISM非製造業景気指数の推移



※期間：2015年5月～2019年5月（月次）

5日の米ドル/円と米金利の推移



※①民間部門雇用者数発表
②ISM非製造業景気指数発表
日付、時刻は日本時間

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- ISM非製造業景気指数は全米供給管理協会が発表する指数です。